



まちの話題

- おおさきトピックス -



東條政春 前副町長 退任 12年間町政を支える



▲東町長と固い握手を行う東條前副町長（右）

3月30日（金）、本町の副町長という要職を12年間（助役時代を含む）務め、町政を支えてきた東條政春氏（木入道集落）の退任式が行われました。

東條前副町長は、「3期12年間、就任当時は財政状況が厳しかったがだんだんと改善されてきている。大崎町は永遠かつ元気でなければならない。皆さんで大崎町を育ててほしい。これからは一町民として皆さんを応援したい。」と職員らへ激励の言葉を送りました。

新副町長に千歳史郎 氏が就任



本町の副町長に千歳史郎 氏（山村集落）が就任され、その辞令交付式が4月2日（月）に行われました。

千歳副町長は、「東町長を支える立場であり、その職務を全うしたい。」と抱負を話しました。

任期は平成30年4月1日から平成34年3月31日までの4年間です。



教育委員会委員に二見いすず 氏が再任



本町の教育委員に二見いすず氏（木入道集落）が再任され、辞令交付式が3月30日（金）に行われました。

教育委員の任期は4年で、毎月開催される教育委員会定例会において、町の教育に関する議題について話し合いや議決を行っています。

二見委員は「子どもたちは地域の宝物。大人みんなで見守りたい」と話しました。

